

# Role of Aldosterone and Potassium Levels in Sparing Confirmatory Tests in Primary Aldosteronism

馬越, 洋宜

<https://hdl.handle.net/2324/7157405>

---

出版情報 : Kyushu University, 2023, 博士 (医学), 論文博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (2)

氏名： 馬越 洋宜

論文名： Role of Aldosterone and Potassium Levels in Sparing Confirmatory Tests in Primary Aldosteronism

(原発性アルドステロン症の確認検査の省略におけるアルドステロンおよびカリウム濃度の役割)

区分： 乙

### 論文内容の要旨

**背景：**現在の臨床ガイドラインでは、血漿レニン値の抑制下で、血漿アルドステロン濃度 (plasma aldosterone concentration; PAC) が上昇している患者の一部では、原発性アルドステロン症 (primary aldosteronism; PA) の確認検査を省略してもよいとされている。しかしながら、これは優先順位の低いエビデンスであり、その際に血清カリウム値を使用するかについては一貫していない。

**目的：**本研究は、PAにおける機能確認検査を免除する適切な設定について検討することを目的とした。

**方法：**本研究は、単一施設における後ろ向き横断研究である。2007年1月から2019年4月までに血漿レニン抑制下の高血圧症で、カプトプリル負荷試験 (captopril challenge test; CCT) を受けた327人の患者を対象とした。CCTの結果は、PAの診断に用いられた。主要評価項目: PAの確認におけるPACと血清カリウムの診断価値。

**結果：**対象患者のうち、327例中252例 (77%) がPAと診断された。PACが30ng/dLを超える61例の患者は、すべてPAと診断された。また、PACが20~30ng/dLの患者では、55人中44人 (80%) がPAと診断され、PACが20~30ng/dLの患者で自発性低カリウム血症を有する26例は、すべてPAと診断された。副腎静脈サンプリングによる片側性PAの割合は、PAC>30ng/dLまたは自発性低カリウム血症でPACが20~30ng/dLの患者で、基準を満たさない患者よりも高かった (76% vs 17%,  $P<0.001$ )。

**結論：**PAにおける確認検査は、PAの典型的な特徴を有する患者には省略することができ、これらの患者は副腎静脈サンプリングで片側性PAの可能性が高かった。